

学習課題(小学校2年生)

【算数】「※」は学習するときのヒントです。

<学習内容>

◆かけ算(きょうかしょ「下」2~21ページ)

きょうかしょ3ページと4ページをくらべてみよう。

ちがいを図やことばで表してみよう。



どんな^{しき}式にあらわせるかな？

3ページのじてん車

$$3 + 4 + \quad + \quad =$$

4ページのじてん車

$$3 + 3 + \quad + \quad =$$

※3ページのじてん車にのっている人の数はバラバラだけど、4ページのじてん車にのっている人の数は同じだね。4ページのように「同じ数のまとまりがいくつかあるとき」につかうことができる、あたらしい計算があるよ。その名も・・・「**かけ算**」！！

3人ずつ4台分で12人になることを、式で次のように書きます。

$$3 \times 4 = 12$$

1つ分の数

いくつ分

ぜんぶの数

3かける4 は 12

きょうかしょ5ページの㊦をノートにやりましょう。また、6ページのの2をきょうかしょにやりましょう。かけ算の式にあらわせるかな。

ボールが3こずつ入った入れものが5本あります。
ボールはぜんぶで何こあるでしょうか。

かけ算の式であらわすと…

×

たし算の式であらわすと…

＋ ＋ ＋ ＋

※かけ算の式は、みじかくてすっきりしているね。たし算の式はながいけど、答えをもとめることができるよ。同じもんだいなのに、2つのあらわしかたができるっておもしろいね。

きょうかしょ7ページの図をノートにやりましょう。かけ算の式にあらわしたら、たし算で答えをもとめられます。

きょうかしょ8ページのもんだいをくらべましょう。

①の式

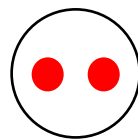
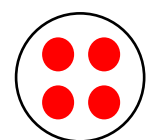
×

=

②の式

×

=



※答えは同じだけど、式のじゅんばんがちがうね。もんだいを、かけ算の式にあらわすときは、「1つ分の数がいくつなのか」かんがえることをたいせつにしよう。

5×3の式になるもんだいをノートにつくりましょう。
まよったときは、図をかいてみるとわかりやすいよ。

教科書
11ページ

九九がいえるようになったら、すう字にまるをつけよう。

5のだんの九九
いえるかな？

5

2のだんの九九
いえるかな？

2

3のだんの九九
いえるかな？

3

4のだんの九九
いえるかな？

4

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆かけ算(教科書「下」P2～21)

- ・まとまりを捉え、それがいくつ分あるかを考える学習です。一番重要なのは、まとまり、つまり1つ分を捉えることです。この考え方が高学年で学習する「割合」にもつながります。2年生で九九を覚えておくと便利です。順番に唱えたり、逆から唱えたり、保護者の方が順番に関係なく問題を出したりしながら、一緒にお楽しみください。